





## 小5 国語 一―二

平成二十六年  
全国学力・学習状況調査 21・2

名前

組 番

## 2

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

## 一 「五十歩百歩」

- 1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。
- 2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。
- 3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことと言い争う二人は、五十歩百歩だ。

## 二 「百聞は一見にしかず」

- 1 友達の野村さんは、先生の説明のはじめの部分の聞くと、結論まで見通すことができるという。百聞は一見にしかずということができる人だ。
- 2 私は、夕日が美しいことで有名な海岸を訪れ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに百聞は一見にしかずだ。
- 3 私は、人からいろいろと細かく注意されることがいやだ。しかし、友達に百聞は一見にしかずだと助言されたので、そのことをよく考えてみようと思う。



小5 国語 一―三

平成二十七年  
度  
全国学力・学習状況調査③

名前

組 番

3

次は、代表委員会に出された【美化委員会からの提案の一部】と、それを聞いている六年生代表の【青木さんの心の中の声】です。A・B・Cは、どのような聞き方をしていますか。それらについて説明しているものを、あとの1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【美化委員会からの提案の一部】

最近、校内のよこれが気になります。みなさんは、そうじに一生けん命取り組んでいますか。中には、おしゃべりばかりしている人や取りかかりがおそい人もいます。そこで美化委員会から、来月の全校美化週間において取り組むことを、次のように提案します。それは、「さ・し・す・せ・そ」を合い言葉に取り組むことです。

⑤ さ…さっと取りかかり  
④ し…しずかに  
③ す…すみずみまで  
② せ…せいっぱい  
① そ…そうじをしよう

これらを合い言葉に、みんなで力を合わせ、きれいな学校にしていきたいでしょう。  
（提案が続く）

【青木さんの心の中の声】

A そうじに対する取り組みの問題点などをとくに、提案しているんだな。

B 六年生は、「さっと取りかかり」と「すみずみまで」については、あまりできていないような気がするわ。

C 低学年にも分かりやすいな。これなら、そうじのときに合い言葉として声をかけ合うことになるだろうから、きっと効果が上がるわ。



- 1 提案の内容と自分たちの様子とを関係付けながら聞いている。
- 2 自分が予想したとおりかどうかを確かめながら聞いている。
- 3 どのようなことをもとにした提案なのかを考えながら聞いている。
- 4 提案に対して反対の立場に立ち、疑問をもちながら聞いている。
- 5 目標の達成につながる提案であるかを評価しながら聞いている。



## 小5 国語 二―一

平成二十八年  
度  
愛媛県学力診断調査  
□1・2

名前

組 番

二 次は、松田さんのスピーチの一部です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【松田さんのスピーチの一部】

きのう、運動公園で小学生向けのサッカー教室がありました。コーチは、ほくがあこがれているプロの選手でした。

まず、パスの出し方や受け方の説明を聞きました。コーチは、ねらった所にパスを出すことや、足もとできちんとボールを止めるコツをていねいに教えてくれました。

1 次の文の「運動公園で」は、どの言葉を修飾しゅうしよくしていますか。次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア

きのう、運動公園で、小学生向けの

イ

サッカー教室が

エ

ありました。

2 【松田さんのスピーチの一部】の中の「くれました」を、敬語けいごを使ってひらがな七字で書き直しましょう。





小5 国語 二―三

平成二十六年  
全国学力・学習状況調査③

名前

組 番

3 次は、南田さんが想像したことをもとにして書いてある【物語の一部】です。南田さんは、橋本さんから助言をもらっています。あとの【二人の会話の様子】の [ ] の中に入る内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【物語の一部】

良太は、小学三年生の男の子。春休みに、大きな町から引っこしてきました。四月、引っこした先の学校に通い始めましたが、はずかしがり屋の良太は同じ学級の人に声をかけることができませんでした。  
おだやかな風がふく、ある日のことです。学校から家に帰った良太は、近くの公園に出かけました。その公園は、学級のみんがよく遊んでいる場所です。学級のだれかと会って話をしたくて、そこでじっと待つことにしました。しかし、公園にはだれも来ません。  
良太は、さびしい気持ちでいっぱいになりました。  
「こんなところなんてきらいだ。友達なんていらないや。」  
と、小さな声でつぶやきました。  
♪ (物語が続く) ♪

【二人の会話の様子】

南田 —— 部では、良太の気持ちを「さびしい」と表現したけど、「さびしい」という言葉を使わずに、うまく表現できないかな。  
橋本 それならば、その気持ちを [ ] で表したらどうだろう。  
南田 それはいいね。(しばらく考える)  
では、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」としたらどうかな。  
橋本 そうだね。そのように書きかえると、「さびしい」という言葉を使わなくても、読み手に良太の気持ちや様子を想像させることができると思うよ。  
♪ (会話が続く) ♪

1 良太の顔の表情

2 良太の心の中の声

3 良太の周りの風景

4 良太の行動



## 小5 国語 三—一

平成二十九年度  
愛媛県学力診断調査 三・三

名前

組 番

二 前田さんは、体に関する慣用句かんようくの正しい使い方についてまとめています。次のアからエまでの中から、慣用句の使い方として正しくないものを一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 私の妹わたしは、あまいものに目めがない。
- イ 本を読んで、主人公の悲しみが胸むねにせまる。
- ウ 私には、手てがあくほど欲しいものがある。
- エ 毎朝そうじをしている六年生に、頭かぶが下がる。

三 次の文の——線部「発表した」は述語じゆつごに当たります。主語に当たる言葉を——線部アからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 本日ほんじつ 気象台は
- イ 四国地方に
- ウ 大雪注意ほうを
- エ 発表はつぱつした。



## 小5 国語 三—二

平成二十九年度  
全国学力・学習状況調査①

名前

組 番

1

野村さんの学級では、学級文集のタイトルを決めています。次は、学級文集のタイトルについて、各グループで話し合ったことを報告し合う【報告場面の一部】です。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

## 【報告場面の一部】

石川 学級文集のタイトルについて、学級目標と同じように、明るくかがやくイメージの言葉にするとどこまで決まっています。それをふまえて、ここまで話し合ったことを中島さんのグループから順番に報告してください。

中島 私わたしのグループでは、まわりを照らすというイメージから、「太陽」がよいという意見にまとまりました。

西山 ぼくのグループでも、「太陽」がよいということになりました。理由は、太陽は明るく、まわりをあたたくすることもできるからです。

野村 私のグループも、明るくというイメージの「太陽」がよいという意見がありました。しかし、学級の一人一人がかがやくというイメージで「銀河」がよいという意見もありました。どちらもよい意見で、一つにまとまりませんでした。「太陽」だけでなく、「銀河」についても、ぜひみんなに考えてほしいです。

～（報告が続く）～

（問い） 野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 話し合って一つにまとまったことを報告している。
- 2 一番多く出されたことを報告している。
- 3 学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
- 4 同じ意見でも理由がちがうことを報告している。





小5 国語 三—三

平成二十九年  
全国学力・学習状況調査 4—1—2

名前

組 番

4

中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた【俳句カード】と好きな俳句を紹介するための【話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【俳句カード】

ア 雪とけてくりくりしたる月夜かな

小林一茶

〈調べた内容〉

季語：雪とけて 季節：春

この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もきれいで明るくかがやく夜だなあ。」とよんでいるそうです。

【話し合いの様子】

北田 アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」が

おもしろいね。声に出して読んでみるよ。(音読)

中西 リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。

「くりくり」というのは、月の(A)を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。

本間 イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似て

いるね。どちらも声に出して読んで紹介すると、俳句のよさがもっと伝わりそうだよ。(音読)

「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような気がした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。

青木 そうか。ふいてくる風からも、見ている月からも、ひんやりした秋を感じているんだね。

中西 作者の伝えたかったことって、今、青木さんが言ったことなのかもしれないね。このこともみんなに紹介しよう。

イ ひやひやと月も白しや秋の風

上島鬼貫

〈調べた内容〉

季語：秋の風 季節：秋

この俳句は、「秋のこちよい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ。」とよんでいるそうです。

一 中西さんは、【話し合いの様子】の(A)でどのように発言したでしょうか。(A)に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 かすんでいる様子
- 2 まっ白い様子
- 3 まんまるい様子
- 4 欠けていく様子

二 中西さんのグループでは、話し合いを通して、自分たちが見つけた俳句のよさについても紹介しようとしています。紹介しようとしている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 言葉のひびきや作者の季節を感じる心
- 2 それぞれの作者の生き方や考え方
- 3 月の形が変化する様子や構成のくふう
- 4 季語の使い方や季語から想像したこと



小5 国語 四—一

平成二十六年  
度  
愛媛県学力診断調査

名前

組 番

二 大野さんは「言う」と別の動詞（動作などを表す言葉）を組み合わせてできる言葉を集めています。次の文の（ ）に入る言葉として最もふさわしいものを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

先生に対する感謝の気持ちは、どれほど言葉をならべたとしても（ ）  
ことができなない。

- ア 言い返す    イ 言い残す    ウ 言いつくす    エ 言いふらす



【国語一】

- H 27 愛媛県学力診断調査 **五** 1・3  
 H 26 全国学力・学習状況調査 **二** 1・2  
 H 27 全国学力・学習状況調査 **三**

**五** 1 **エ**

3 1  
 ・休み時間に運動をしない子のほうが多い(18字)

〈他の正答例〉

- ・あまりしない子が、よくする子に比べて多い(20字)
- ・休み時間に体を動かさない子が多い(16字)
- ・休み時間に遊ばない子のほうが多い(16字)

**三** **二**  
 A ー  
**三** **三**  
 B 1 2  
 C 5

【国語二】

- H 28 愛媛県学力診断調査 **二** 1・2  
 H 25 全国学力・学習状況調査 **四** ア・イ・ウ  
 H 26 全国学力・学習状況調査 **三**

**四** **二**  
 1 **エ** 2 くださいました

**四** **二**  
 ア 1 (例) 上回っている イ (例) 上回っている

ウ ア 1 (例) 年代が上がるにつれて、「見れた」を使うわり合よりも「見られた」

を使うわり合が大きくなることが分かる。

**三** 3

【国語三】

- H 29 愛媛県学力診断調査 **二**・**三**  
 H 29 全国学力・学習状況調査 **一**・**四** 1・2

**二** **三**  
 ウ **一** **イ** **一** **三** **四** ー **三** **二** **一**

【国語四】

- H 26 愛媛県学力診断調査 **二**  
 H 25 全国学力・学習状況調査 **三** 1・2

**三** **二**  
 ー **ウ**

放送委員会 ・ ぼくは、委 ・ 新しく委員

(1) そうにしていた ・ ぼくは、これま

(2) 4